様式-1-2

受付番号：22-a07

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

脳動静脈奇形手術における融合３次元画像の有用性についての後方視的検

研究の背景・目的：脳動静脈奇形（AVM）における手術成において最も重要なことの一つは、術前の詳細な画像評価に基づく正しい手術戦略の構築です。AVM は複雑な解剖構造のため、正しい評価に基づく手術戦略の構築は時として難しい場合があります。近年このような手術戦略の構築には高精細な３次元画像(3DCG)を用いた術前検討が有用との報告が近年散見されています。しかし AVM に関しては、手術の頻度がそれほど多い疾患ではなく、どのような３DCG が AVM の術前検討に有用で、また３DCG をどのように活用すれば術前検討に有用であるかははっきりしていません。そこで本研究では当科ですでに術前検討に用いた 3DCG を後方視的に検討し、AVM 手術における術前検討に有用と思われる 3DCG の特徴および実際の活用方法について検討することで、AVM における安全な手術の提供などに寄与することを目的とします。

研究の方法

●対象となる方:

2019 年 3 月 1 日より 2022 年 5 月 31 日の間、東京警察病院で AVM に対して手術を受けた患者を対象とします。

●研究期間：医学倫理審査委員会承認後より研究開始となり、2024 年 12 月 31 日までの間、AVM に対して手術を施行した患者さんのデータ解析を行います。

●利用する検体やカルテ情報：通常診療で必要であった、術前後の症状、画像所見の解析を行います。新たな検査などは必要ありません。

●検体や情報の管理：得られたデータは匿名化し、研究を分担するスタッフのみがアクセス可能として、作業場所、データ保管場所などの管理を厳重に致します（管理責任者：吉野正紀）。研究成果の公表に際しては、個人が特定されることがないように配慮するなど、当院の規定に基づき個人情報保護の徹底に努めます。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。
なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

東京警察病院　脳神経外科

電話番号　03－5343－5611（代表）　（内線）3068

担当医師：吉野　正紀